

ヒューマンエラー

今年も早くも10月、下半期のスタートとなりました。年度初めに立てた目標の達成に向け、気持ちも新たに取り組んでいきましょう。

全社の環境目標としては、刷り直し・作り直しの削減とそれによる用紙削減を掲げ活動しています。

島田PCではこれまでの結果、用紙削減が進み、昨年度は対前年23%削減を目標として、35.6%の削減を達成しています。今後は顧客の理解を得つつ、色調不良を削減することが課題となりそうです。

一方、本社サイトでは指示ミスや手配ミスなどのヒューマンエラーへの対策が削減に向けての課題です。

ヒューマンエラーは、手抜きなど意図して起こるものと、見落としややり忘れといった、うっかりミスによる意図せず起こるものの2種類に大別できます。またその発生する12の原因によっても分類できます。

知識・経験不足	新人に多いエラー
危険軽視・慣れ	慣れによるエラー
不注意	最も多い一般的なパターン
連絡不足	コミュニケーションエラー
集団欠陥	組織的な要因（現場の雰囲気）による
近道行動・省略行動	定められた手順を遵守せず起こるエラー
場面行動本能	注意が一点に集中して他を見落とす
パニック	想定外の事態や強いプレッシャーによる
認知ミス	先入観や固定観念による思い込み
心身の機能低下	記憶力や身体的な機能の低下による
疲労	過酷な労働条件下で起こりやすい
注意・意識の低下	単調な作業などでの注意力低下

対策としては、以下のことが挙げられます。

過去に発生したミスをリストアップして周知する
機械・デジタルツールを導入する
業務を単純化する
対策・優先すべき事項をマニュアルにまとめる
日頃から情報共有しやすい職場環境をつくる

削減のためには、起こることを前提に、予防策やリスク回避策を講じることが重要となります。

JAPAN PACK 2023



「JAPAN PACK 2023 日本包装産業展」が、10月3日（火）から10月6日（金）までの4日間、東京ビッグサイトにおいて開催されます。

第34回を迎える今回は、メインテーマとして『未来への包程式—当たり前その先へ』を掲げています。

生産現場の自動化・効率化や、持続可能な社会への対応、安全安心の実現、市場の拡大など各種課題に対する解決策を「包程式」として具現化するというのが、そのねらいとなっています。

また、特別展示も自動化や環境にフォーカスしたものが、多数設置されることとなっています。機会がありましたら、参加されてはいかがでしょうか。事前登録、詳細につきましては、専用サイトをご確認下さい。

<https://www.japanpack.jp/>



JAPAN PACK 2022の様子

JS環境委員会短信

気象庁によると、今年の夏は統計開始以来最も暑かったとのこと。その暑さもようやく和らぎつつありますが、夏の疲れや、1日の寒暖差の大きさによる「秋バテ」というのもあるようです。体調不調を感じたら、しっかりと休養をとりましょう。

本社 環境委員会

